

## 希少動植物種モニタリング検討会とは

栃木県真岡土木事務所では、「鬼怒テクノ通り」(真岡市長田～宇都宮市氷室町、約11km区間)の整備にあたって、「人と自然にやさしいゆとりある道づくり」をめざしています。

これまで、環境影響評価法に基づき大気汚染・騒音などの生活環境、動物・植物などの生態系に関する自然環境について影響評価を行い、平成13年5月に評価書の公告・縦覧を完了させたところです。

工事にあたっては、路線周辺に生息するオオタカやオオムラサキ、また、生育するミヤマウズラなどの希少動植物の保全に配慮することとし、「鬼怒テクノ通り希少動植物種モニタリング検討会」を設けることとしました。検討会委員は動植物の生態系に詳しい学識経験者及び専門家をお願いしました。

### 検討会風景



【座長】青木 章彦 (作新学院大学女子短期大学部 教授)

【委員】高松 健比古 (真岡の自然を守る会 会長)

【委員】遠藤 孝一 (日本野鳥の会 栃木県支部 副支部長)